

| | | | | | | | |
|------|---------|------|----|------|-----|------|------|
| 科目名 | 保育実習指導Ⅲ | | | | | 単位 | 1.0 |
| 担当教員 | 藤林 清仁 | | | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講期間 | 随時 | 配当年次 | 3,4 | 授業番号 | 7004 |

●授業のテーマ

保育実習Ⅲのための準備と実習後のふりかえり

●到達目標

保育実習Ⅰ－Ⅱでの経験を踏まえ、保育実習Ⅲの学習課題を明確にするとともに、実習体験を深め、自己課題を明らかにする。

●学習内容(授業概要)

保育実習Ⅲにおいては、次の五つのことを学びます。第一に、保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。第二に、実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。第三に、保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。第四に、保育士の専門性と職業倫理について理解する。第五に、実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。具体的には、保育実習による総合的な学び、保育実践力の育成、計画と観察、記録、自己評価事後指導における実習の総括と評価について学んでいきます。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解
2. 子どもの保育と保護者支援
3. 子どもの状態に応じた適切なかかわり

《後期》

1. 保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践
2. 保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善
3. 保育士の専門性と職業倫理
4. 実習の総括と自己評価
5. 課題の明確化

●準備学習・事後学習の内容

障害のある子どもが生活する施設、通う施設について事前に理解しておく。

●成績評価方法・基準

事前学習レポート 40%、事後学習レポート 40%、発表内容 20%。

●テキスト(必携)

《No.1.》書籍名：保育士をめざす人の福祉施設実習、著者名：愛知県保育実習連絡協議会 伊藤貴啓 小川英彦、出版社：みらい、販売先：Do

●参考文献／その他
授業時に指示します。

●履修上の注意
特になし。